

2023年

秋田なまはげ
弘前ねふた
青森ねふた

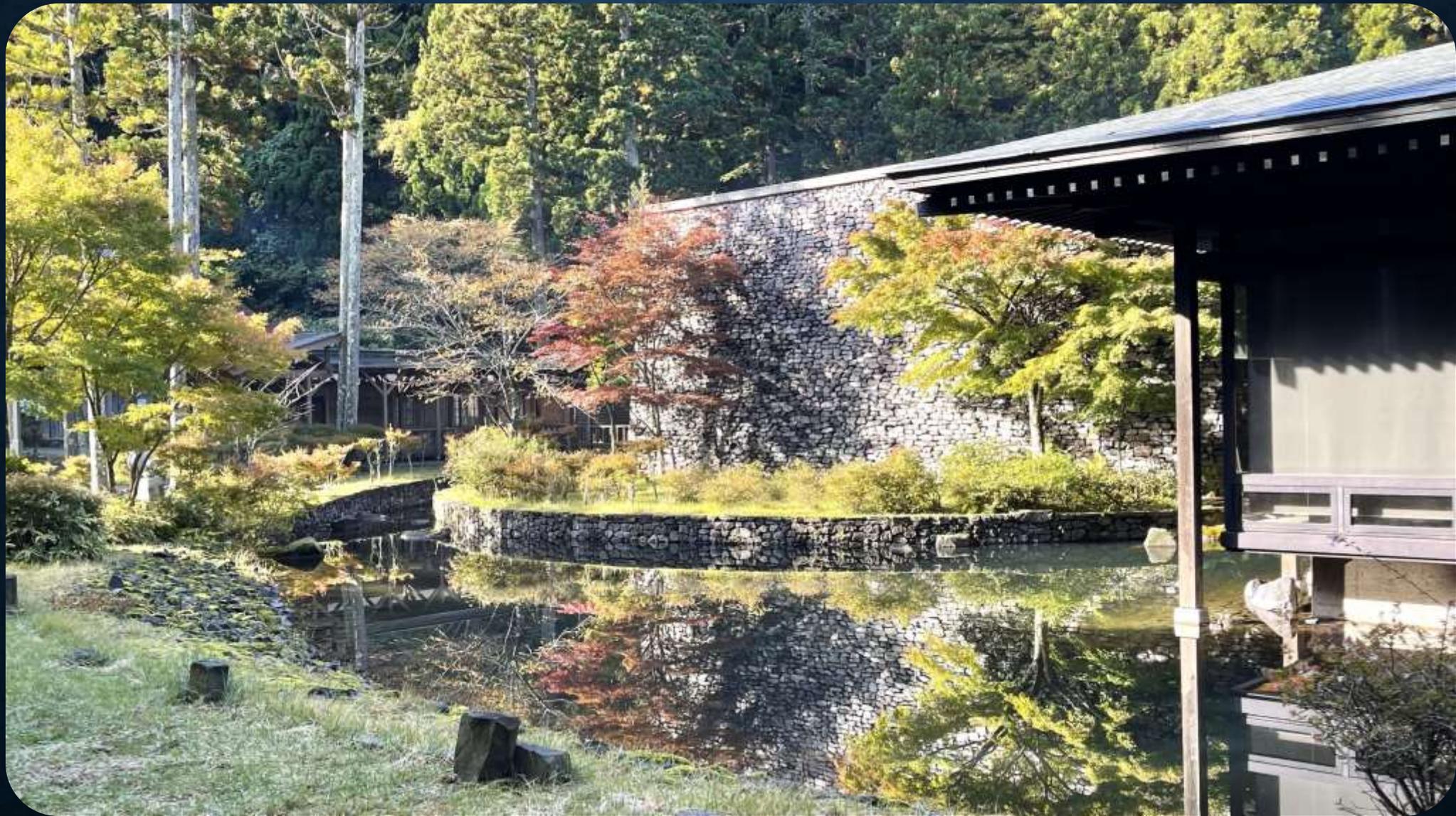
Photo by Kayoko



①なまはげ (1)



①なまはげ (2) なまはげ館



①なまはげ (3)



①なまはげ (4) 男鹿真山伝承館



①なまはげ (5)



①なまはげ (6)



①なまはげ (7)



①なまはげ (8)



①なまはげ (10)



② 津輕藩ねぷた村 (1)



② 津軽藩ねふた村 (2) 津軽三味線実演2曲



② 津軽藩ねぷた村 (3)



② 津軽藩ねぶた村 (4)



② 津軽藩ねぶた村 (5)



② 津軽藩ねぷた村 (6)



囃子：太鼓と笛

② 津軽藩ねぷた村 (7) 太鼓の実演に参加



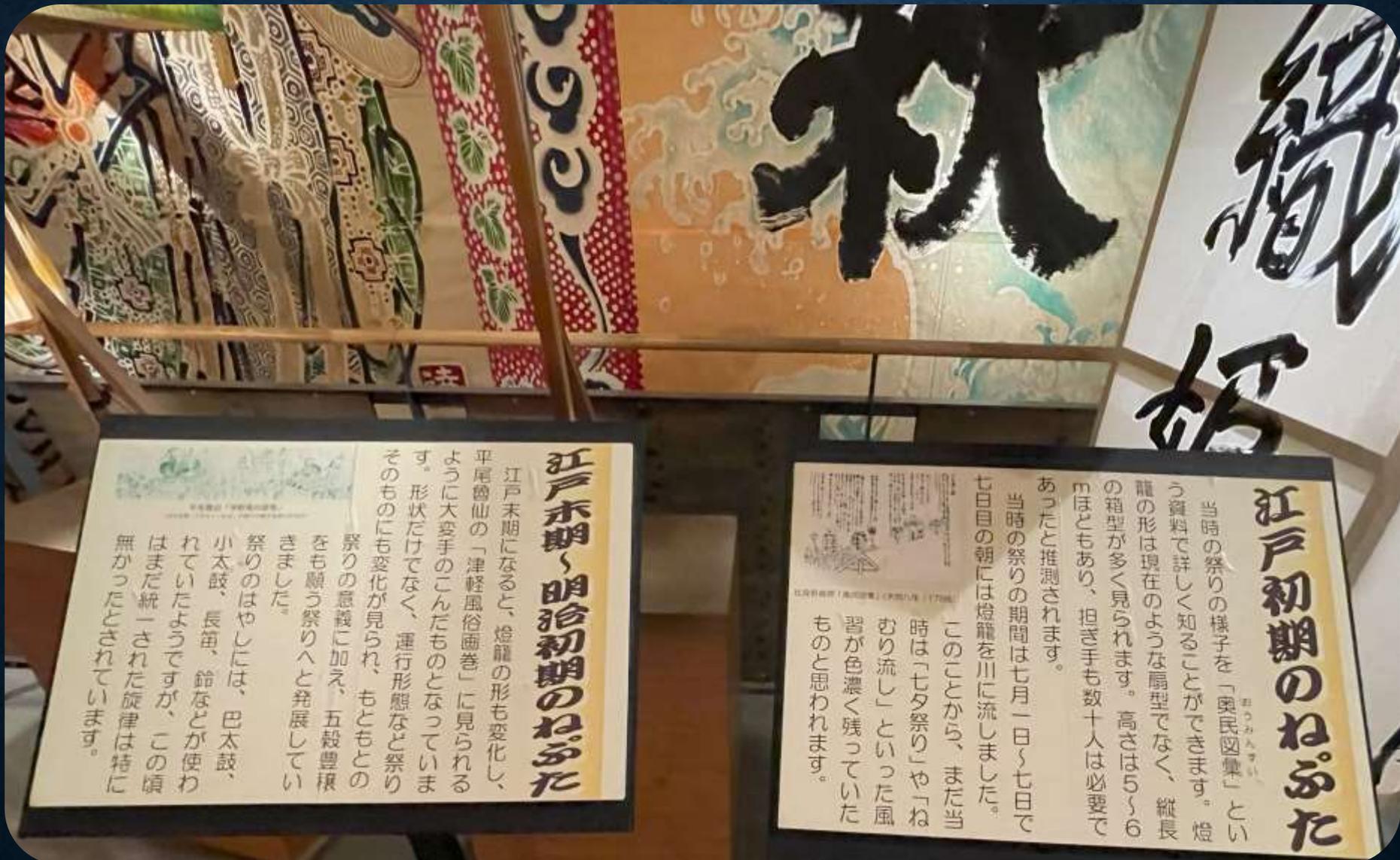
② 津輕藩ねぶた村 (8)



② 津軽藩ねぶた村 (9)



② 津輕藩ねぶた村 (10)



江戸初期のねぶた

当時の祭りの様子を「奥民図彙」という資料で詳しく知ることができます。燈籠の形は現在のような扇型でなく、縦長の箱型が多く見られます。高さは5〜6mほどもあり、担ぎ手も数十人は必要であったと推測されます。

当時の祭りの期間は七月一日〜七日で七日目の朝には燈籠を川に流しました。

このことから、また当時は「七夕祭り」や「ねぶり流し」といった風習が色濃く残っていたものと思われれます。

江戸末期〜明治初期のねぶた

江戸末期になると、燈籠の形も変化し、平尾鶴仙の「津軽風俗巻」に見られるように大変手のこんだものとなっていきます。形状だけでなく、運行形態など祭りそのものにも変化が見られ、もともとの祭りの意義に加え、五穀豊稔をも願う祭りへと発展してきました。

祭りのはやしには、巴太鼓、小太鼓、長笛、鈴などが使われていたようですが、この頃はまだ統一された旋律は特に無かったとされています。

② 津軽藩ねぶた村 (11)



日本の火祭り 青森ねぶた

③ ねぶたの家ワラッセ (1)



③ ねぶたの家ワラッセ (2)



釈迦降誕

北村春一作

青森市文化観光交流施設ねぶたの家ワラッセ

青森市文化観光交流施設

③ ねぶたの家ワラッセ (3)



③ ねぶたの家ワラッセ (4)



③ ねぶたの家ワラッセ (5)



③ ねぶたの家ワラッセ (6)